# 県議会ふくしま

9月定例会の概要（9／14～10／3開催）

第75号

［企画・編集］福島県議会広報委員会


# 議員定数条例改正案を全会一致で可決！

9月定例会では、知事提出議案として、100億5500万円に上る一般会計補正予算などの予算に関する議案4件、「福島県税条例の一部を改正する条例」など条例に関する議案11件、「公の施設の指定管理者の指定について」などその他の議案25件を原案どおり可決・承認・同意するとともに、平成29年度決算関係議案5件を継続審査としました。

また、議員提出議案として、議員定数条例の改正及び選挙区の特例条例の2件を全会一致で可決したほか、国へ提出する意見書6件を可決、請願1件を採択しました。

## 補正予算の主な内容

**総額100億5,500万円**

**○県有施設のブロック塀に関する安全対策　1億9,510万円**
県有施設のブロック塀の補修、撤去等の安全対策や県産材を活用した木製フェンスの普及に繋げるモデル事業を実施

**○福島インバウンド復興対策事業　1億2,303万円**
台湾・ベトナムから福島空港へのチャーター便運航の増加等を契機とした誘客促進

**○福島空港復興加速化推進事業　1,498万円**
台湾との連続チャーター便運航への支援の拡充や、ベトナムにおけるPRイベント実施による福島空港利活用を促進

**○中間貯蔵施設立地町地域振興交付金　16億円**
中間貯蔵施設の立地町の地域振興に必要な課題に対応するための支援

**○福島大学食農学類地域課題解決実践講座設置支援事業　2億円**
福島大学食農学類の知見活用による本県農業・農村の課題解決を図るため、講座の設置を支援

## 議員定数条例の改正と選挙区特例条例を制定

▲議員定数条例改正案と特例条例案を全会一致で可決

9月19日の本会議で、来年秋に執行される県議会議員一般選挙において、郡山市選挙区（定数9）を1人増の10人、喜多方市・耶麻郡選挙区（定数3）を1人減の2人とする議員定数条例の改正案と、原発事故の避難地域の選挙区に特例を適用して選挙区を維持するための特例条例案を全会一致で可決した。

（詳しくは、県議会ホームページをご覧ください。）

## 議員定数条例改正の内容

●総定数　58人（変更なし）
- 郡山市選挙区　10人（1人増）
- 喜多方市・耶麻郡選挙区　2人（1人減）

※その他の選挙区は変更ありません

## 定例会での主な質疑

### 風評・風化対策

**質疑** 復興五輪を見据え、風評・風化対策を更に強化すべきと思うが、考えを尋ねる。

**答弁** 農産物や観光の海外向けプロモーション、公式ポスターの大規模展開、教育旅行の誘致やホープツーリズム推進を粘り強く継続するとともに、企業や自治体とのコラボレーションを積極的に進める「共働」を展開しながら、福島県の現状や魅力、果敢に挑戦し続ける姿を伝え、理解と共感の輪が一層広がるよう対策を更に強化していく。

### 防災意識の高揚と防災体制の確立

**質疑** 県民の防災意識の更なる高揚と地域の防災体制の確立にどのように取り組んでいくのか。

**答弁** 市町村長を対象とした「ふくしま防災塾トップ59」や自主防災組織のリーダーに対する研修会の開催、住民自らが防災マップを作成し活用する取り組みの支援など、地域における災害時の対応の充実を図る取り組みを継続し常に進化させることで県民の安全・安心を確保していく。

### トリチウムを含む処理水

**質疑** トリチウムを含む処理水の取扱いについて考えを尋ねる。

**答弁** 現在、国において社会的影響を踏まえた検討がなされており、8月に開催された公聴会では様々な意見が出された。国及び東京電力においては、これらの声をしっかり受け止め、環境や風評への影響等について議論と説明を尽くしながら慎重に検討を進めていくことが重要と考える。

### 復興・創生の財源確保

**質疑** 復興・創生に必要な財源の確保にどのように取り組んでいくのか。

**答弁** 政府要望や福島復興再生協議会等において、国に対し、県・市町村と共に復興のビジョン・構想を描き、復興の道筋を示せるよう検討を進め、十分な財源及び体制を確保するよう強く訴えてきた。引き続き、目の前の課題にチャレンジし、復興を着実に前に進めながら、国が福島の復興に最後まで責任を果たすようしっかりと求めていく。

### 県民の健康づくり

**質疑** 健康づくりに関する県民の意欲を高め、維持していくため、どのように取り組んでいくのか。

**答弁** ふくしま健民アプリの機能追加に加え、ふくしま県民プロジェクト大使による情報発信や通信カラオケに広報動画を配信するなど、県民が健康づくりの大切さに気付き、楽しみながら継続できるよう取り組みを拡充している。今後もふくしま健民検定や健康づくりに積極的に取り組む事業所の認定・表彰を行うなど、県民の意欲を高め、維持していくことができるよう、しっかりと取り組んでいく。

### 少子化対策

**質疑** 少子化対策にどのように取り組んでいくのか。

**答弁** 社会全体で少子化対策に取り組む機運を一層高めるため、企業と連携した結婚や育児参加の奨励、子育て世代包括支援センターの更なる設置促進に向けたトップセミナーの開催などに取り組んでおり、引き続き、若い世代が安心して子どもを生み育てることができる社会環境の整備を推進し、多くの方に「福島県で子育てしたい」と感じていただけるよう全力で取り組む。

### 県立学校のエアコン設置

**質疑** 県立学校のエアコンの設置や保護者負担について考えを尋ねる。

**答弁** 多くの県立学校で来年夏から稼働できるよう、できるだけ早期の予算計上に努めるとともに、設置する教室等については今後具体的に検討していく。また、保護者負担で設置されたエアコンの燃料代は、設備リース料と併せ県が負担する方向で検討していく。

## 2人の議員を追悼

▲故斎藤議員、故矢島議員への追悼演説

9月14日、本会議で故斎藤勝利議員（相馬市・相馬郡新地町選挙区）と故矢島義謙議員（本宮市・安達郡選挙区）へ黙とうをささげた後、追悼演説を行った。

斎藤議員へは西丸武進議員が、矢島議員へは佐久間俊男議員が哀悼の意を表した。

## 商労文教委員長を選任

9月14日、矢島議員の逝去により空席となっていた商労文教委員長に矢吹貢一委員を選任した。

## 2選挙区で新議員選出

補欠選挙により相馬市・相馬郡新地町選挙区から荒秀一議員が、本宮市・安達郡選挙区から佐藤政隆議員が選出された。

荒議員を農林水産委員と避難地域等復興・創生対策特別委員に、佐藤議員を商労文教委員と交流人口拡大・過疎地域等振興対策特別委員にそれぞれ選任した。

また、高橋秀樹議員を農林水産委員から総務委員へ所属変更した。

## 総括審査会を開催

10月2日、本会議や常任委員会で論議が尽くせなかった問題などについて一問一答により審議する総括審査会（山田平四郎委員長）を開催し、8名の委員が執行部の取り組みをただした。

▲総括審査会

## 決算審査特別委員会を設置

9月26日、平成29年度の決算関係5件の議案を審査するため決算審査特別委員会（満山喜一委員長）を設置し、審査方法等を協議するため初会合を開いた。

審査は、本庁を10月23日から3日間、出先機関を同月31日から3日間行った。

▲決算審査特別委員会

## 議員勉強会を開催

9月20日、東邦銀行の北村清士（せいし）頭取を講師に迎え、福島の現状や働き方改革に向けた取り組みなどを学んだ。

▲議員勉強会

## 可決した国への意見書

（平成30年10月3日、国へ提出）

1. トリチウム水の海洋放出について、県民の意見を最大限に尊重しながら慎重に決定することを求める意見書
2. 復興庁の後継となる組織体制の早期検討を求める意見書
3. 水道施設の戦略的な老朽化対策等を求める意見書
4. 児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書
5. 学校施設及び通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書
6. キャッシュレス社会の実現を求める意見書

## お知らせ

◆10月28日執行の県議会議員補欠選挙で新たに5人が選出されました。

| | |
|---|---|
| ・福島市選挙区 | 丹治　智幸 |
| ・白河市・西白河郡選挙区 | 三村　博隆 |
| ・喜多方市・耶麻郡選挙区 | 渡部　信夫 |
| ・田村市・田村郡選挙区 | 先崎　温容 |
| ・伊達市・伊達郡選挙区 | 佐々木　彰 |

◆平成30年12月定例会は、12月4日（火）開会の予定です。

◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL：(024) 521-7608
FAX：(024) 521-7965
メール：gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp

◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル（YouTube）」もご覧ください。

◆県議会インターネット中継（生中継・録画中継）がスマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけるようになりました。

◆詳しい情報は
福島県議会　検索
携帯からは


Future From Fukushima
ふくしまから はじめよう。
〈広　告〉